

取組の方向性 市内産業の進化・発展

取組の柱 (1) 事業のしやすい環境づくり

①市内産業の経営支援

区分	事業内容	R4実績	R5見込	R4・5に実施した事業についての検証（成果）	R4・5に実施した事業についての検証（課題）	今後の方向性（担当課案）
新規	BCP策定のための支援	○BCP策定支援事業（全4回）を開催 第1回8/4：BCPセミナー（豪雨災害から10年前気象庁長官が語る自然災害対策） 第1回リアル参加22名（16社（市内8社）、2団体）、ウェブ参加11名（6社（市内1社）・4団体） 第2回8/26：BCP策定ワークショップ 10名（8社） 第3回11/15、11/16：BCP策定個別相談会4社8名 第4回12/13：BCP机上訓練（体験会）4社10名	○BCP策定支援事業（全3回）を開催【資料01～03】 第1回10/10：BCP策定セミナー/ワークショップ 第1部リアル参加3名（2社（市内2社））、ウェブ参加4名（3社（市内3社）・1団体） 第2部2名（1社（市内1社）） 第2回11/13、11/22：BCP策定個別相談会4名（2社（市内2社）） 第3回12/11：BCP机上訓練（体験会）5名（3社（市内3社））	R4年度については、第2回や第3回に参加した8社がBCP策定まで行うことが出来た。	R4年度は参加事業者の業種に偏りがあつた。 R5年度は委託事業者を変更し、新規の掘り起こしを図ったが成果に繋がっていない。	企業訪問や様々な媒体を用いて告知するなど、より多くの業種・事業者が参加するように事業周知に力をいれていく。 BCP策定のノウハウがない事業者も有効なBCPを策定できるよう引き続き継続していく。
	市と連携協定を締結している企業や金融機関、宇治商工会議所と連携して、事業者のBCP策定を促すための実践的なセミナー・ワークショップを実施					
拡充	各種制度の周知	○制度パンフレット2,000部作成し、企業訪問にて配付 ○宇治NEXTのホームページ、メールマガジン、フェイスブック、インスタグラム等を活用し、施策情報をタイムリーに情報発信 ・フェイスブック投稿実績 64回 ・メルマガ実績 257名登録、32回配信 ○市政だよりを活用し施策情報を発信（うじの生活おうえんクーポン事業、就労相談等を掲載）	○制度パンフレットを企業訪問にて配付【資料04】 ○宇治NEXTのホームページ、メールマガジン、フェイスブック、インスタグラム等を活用し、施策情報をタイムリーに情報発信 ・フェイスブック投稿実績 23回（1/11時点） ・メルマガ実績 253名登録、33回配信（1/16時点） ○市政だよりを活用し施策情報を発信（うじの生活おうえんクーポン事業、就労相談等を掲載）	様々な媒体を用いて制度周知に努めることが出来た。	各種情報発信手段の広報効果の確認が難しい。	企業訪問等を通じ、事業者の置かれている状況やニーズを的確に把握し、産業支援機関等と連携しながら、事業者の課題解決や経営の安定・成長発展に向けて、伴走支援していく。
	市内事業者向けに市や商工会議所等の各種制度を周知するため、SNSでの発信や企業訪問等でパンフレットを配付					
拡充	農業者への情報発信	○メールマガジンの配信：2回 ○ホームページでの情報掲載	○メールマガジンの配信：6回 ○ホームページでの情報掲載 ○補助事業説明会の実施 7/19 12名 ○個別訪問による事業内容説明 8月中旬～9月上旬 9名	23名の農業者等に対し、メールマガジンで情報を発信することができた。 説明会、訪問とも対面で実施することで、農業者への制度の浸透がより図れた。	メールマガジン登録者数が伸び悩んでいる。 説明会、訪問とも実施時期を年度初めにする。	認定農業者・若手農業者等へ呼びかけし、登録を推進する。 説明会開催時期を年度初めにし、複数回できるように調整していく。
	行政の支援事業や民間団体等の農業関連イベント等の情報を一元化し、しおりやSNS・メールマガジン等を通じてわかりやすく提供					
拡充	農業振興にかかる各種公的助成金、補助金の申請支援	○令和4年度指定4社（うち、拡充した要件での指定1社） ○助成金交付5社8件	○令和5年度指定2社（うち、R4年度に拡充した要件※での指定2社） ※取得又は貸借をした建物の延床面積が300㎡以上のものについても、新たに助成対象指定要件に追加し、助成金を交付することとした。 ○助成金交付5社7件（1/11時点）	企業訪問時に制度周知を図ることが出来た。 R4年度に制度拡充を行うことにより、これまで本制度にて支援が出来なかった敷地内増設についても支援が可能となり、市内既存企業の市内定着を図ることが出来た。 助成金申請時に申請手続きの支援を行うことで円滑に助成金を交付することが出来た。	市内において新規立地先が少ない。	引き続き、企業訪問等で制度の周知を行っていく。 助成金交付においては申請手続きの支援を行うことで申請企業の支援を行っていく。
	農業振興にかかる国や京都府、市の補助金、税の減免等に関する情報提供や申請の支援					
拡充	企業立地助成金の活用支援	○令和4年3月25日付で条例及び条例施行規則を改正し令和4年度から制度を拡充 <拡充した制度内容> 取得又は貸借をした建物の延床面積が300㎡以上のものについても、新たに助成対象指定要件に追加し、助成金を交付することとした。	○令和5年度指定2社（うち、R4年度に拡充した要件※での指定2社） ※取得又は貸借をした建物の延床面積が300㎡以上のものについても、新たに助成対象指定要件に追加し、助成金を交付することとした。 ○助成金交付5社7件（1/11時点）	企業訪問時に制度周知を図ることが出来た。 R4年度に制度拡充を行うことにより、これまで本制度にて支援が出来なかった敷地内増設についても支援が可能となり、市内既存企業の市内定着を図ることが出来た。 助成金申請時に申請手続きの支援を行うことで円滑に助成金を交付することが出来た。	市内において新規立地先が少ない。	引き続き、企業訪問等で制度の周知を行っていく。 助成金交付においては申請手続きの支援を行うことで申請企業の支援を行っていく。
	市内で工場の新設や規模の拡張をする企業を支援するため、条例に基づき市の助成金を交付面積要件を満たさない場合も一定要件を満たす場合は同条例の助成対象に拡大					

区分	事業内容	R4実績	R5見込	R4・5に実施した事業についての検証（成果）	R4・5に実施した事業についての検証（課題）	今後の方向性（担当課案）
継続	産業支援拠点「宇治NEXT」の運営	○市産業振興課、宇治商工会議所、市委託の企業支援機関による企業支援活動を実施 399件（訪問191件、来所86件、他122件）	○市産業振興課、宇治商工会議所、市委託の企業支援機関による企業支援活動を実施 271件（訪問126件、来所55件、他90件）	補助金や助成金の支援だけでなく、人材確保・育成や異業種交流による事業者間の交流促進など、事業者に寄り添った支援を実施した。	ゼロゼロ融資の返済が開始されるなど、コロナの出口支援がますますと重要となってくる為、引き続き関係機関との情報共有や連携強化が求められる。	引き続き、宇治市、宇治商工会議所が一体となって産業支援拠点「宇治NEXT」の役割を果たしていく。
	市と商工会議所が協働して産業支援拠点「宇治NEXT」を運営。スタッフが市内事業者や商店街へ出向き、課題やニーズの聞き取りを実施するとともに、経営上の課題や工業用地の移転・拡張に関する相談窓口として、庁内関係課との調整、情報の提供や発信、補助金等の各種制度の案内、企業間連携や異業種交流の場づくり等、関係機関（国や京都府、産業支援機関、金融機関、大学・研究機関等）と連携して、市内事業者を幅広く支援	○定例ミーティングの実施（市産業振興課、宇治商工会議所、市委託の企業支援機関）	○定例ミーティングの実施（市産業振興課、宇治商工会議所、市委託の企業支援機関）			
継続	専門機関と連携した支援	○企業支援コーディネーター（週4日駐在）が、主に製造業の事業者に対して、国・府の補助金申請や企業間マッチング等の支援を実施	○企業支援コーディネーター（週4日駐在）が、主に製造業の事業者に対して、国・府の補助金申請や企業間マッチング等の支援を実施	コーディネーターによる補助金申請支援や企業間のマッチング等事業者のニーズに応じた支援を実施した。	訪問する企業数や回数を増やし、事業者の支援を充実させる必要がある。	企業訪問等を通じ、事業者の置かれている状況やニーズを的確に把握し、産業支援機関等と連携しながら、事業者の課題解決や経営の安定・成長発展に向けて、伴走支援をしている。
	専門機関と連携し、市内事業者を対象とした様々なテーマでのセミナーや講習会を開催し、また、技術相談や経営相談、販路開拓や産学連携等について、企業訪問・支援を実施	○下請かけこみ寺巡回相談会を開催（4/13、9/14） ○BCPセミナーの開催【P.01 BCP策定への支援に記載】 ○夏休み期間子ども向けものづくりイベントに参加する事業者向けワークショップの開催【P.04 市内事業者や市内産品の情報発信に記載】	○BCPセミナーの開催【P.01 BCP策定への支援に記載】 ○宇治市内企業後継者育成セミナーの開催【P.08 経営者やアトツギのコミュニティ形成の支援に記載】 ○サイバーリスク対策セミナーの開催【資料05】9/20 9社	○BCPセミナーの開催【P.01 BCP策定への支援に記載】 ○宇治市内企業後継者育成セミナーの開催【P.08 経営者やアトツギのコミュニティ形成の支援に記載】 ○サイバーリスク対策セミナーの開催【資料05】9/20 9社	サイバーリスク対策セミナーに関して、令和5年度においては、サイバーリスクの現状から対策のポイントまでを、サイバーリスクの知識のない方でも分かりやすく解説するセミナーを開催することができた。	サイバーリスク対策セミナーに関して、想定より参加事業者が少なかった。サイバーリスクへの備えや対策について経営課題の中での優先順位が低い事業者が多い可能性が高いため、サイバーリスク対策の重要性を市内事業者に認識してもらう必要がある。
継続	各種公的助成金、補助金の申請支援	○宇治市内企業後継者育成セミナーの開催【P.08 経営者やアトツギのコミュニティ形成の支援に記載】				
	工場の新設や設備投資に対する国や京都府、市の補助金、税の減免等に関する情報提供や申請の支援					

区分	事業内容	R4実績	R5見込	R4・5に実施した事業についての検証（成果）	R4・5に実施した事業についての検証（課題）	今後の方向性（担当課案）
継続	商店街等の消費拡大に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ○スマートフォンで利用可能なプレミアム付きデジタルクーポン事業を実施（宇治のお店おうえんクーポン事業） <ul style="list-style-type: none"> ・プレミアム率：40% ・店舗募集：10/26～1/31 ・クーポン販売・使用期間：12/1～2/28 1セット5,000円（2.5万セット完売） 1人あたり4セット購入可能 	<ul style="list-style-type: none"> ○スマートフォンで利用可能なプレミアム付きデジタルクーポン事業を実施（うじの生活おうえんクーポン事業）【資料06】 <ul style="list-style-type: none"> ・プレミアム率：共通券30%、個店券40% ・店舗募集：8/23～12/28 ・販売冊数：共通券7万セット、個店券5万セット ・1セット5,000円 ◎共通券1セット：6500円分 ◎個店券1セット：7000円分 ・クーポン使用期間：1期2期ともに2/29まで 第1期分 <ul style="list-style-type: none"> ・クーポン販売期間：10/2～11/29 ・販売対象者：宇治市民(市内在住の人) ・購入可能冊数：1人各1セット 第2期分 <ul style="list-style-type: none"> ・クーポン販売期間：12/8～2/29 ・対象者：宇治市民(市内在住の人)、市内在学・在勤者 ・購入可能冊数：1人各2セット 	これまでの新型コロナウイルス感染症の影響に加え、原油高や物価高騰などにより厳しい経営状況が長引く市内事業者等の売上回復・向上を支援することができた。デジタルクーポンについては、これまでと同様の仕組みで運用したこともあり、大きな混乱もなく、円滑に実施できた。	店舗数が増え、認知も広がっているが、利用者数・店舗数はさらに伸びしろがあると推察される。	交付金を財源として市内経済の活性化に大きく貢献できる事業として有用であり、今後も機会があれば実施を検討する。
	商店街等が実施するキャッシュレス化等に向けた取組への支援					
継続	商店街等への補助	<ul style="list-style-type: none"> ○炭山陶器まつり実行委員会:炭山陶器まつり(情報化対策)495,000円 ○平等院表参道商店会:藤の花(活性化対策)156,000円 ○宇治観光土産品組合:「GET SMILE宇治だヨ!おみやげ集合ギフト～お土産 密にしました」第五弾 御中元バージョン(情報化対策)500,000円 ○宇治橋通商店街振興組合:宇治橋通り商店街 夏の感謝祭スマイルサタデー・クラフトビール夜市(活性化対策)849,000円 ○宇治橋通商店街振興組合:宇治橋通り商店街 笑顔がいっぱい わんさかフェスタ(活性化対策)1,000,000円 ○タウン100番街商店会:タウン100番街プレミアムチケット(販売促進)148,000円 ○協同組合平和堂同友店会アル・プラザ宇治東支部:アル・プラザ宇治東専門店街 生活全力応援セール プレミアム付お買物券(販売促進)2,000,000円 ○宇治観光土産品組合:「GET SMILE宇治だヨ!おみやげ集合ギフト～お土産 密にしました」第六弾 御歳暮バージョン(販売促進)2,000,000円 ○宇治橋通商店街振興組合:宇治橋通り商店街 歳末感謝祭(販売促進)451,000円 ○宇治橋通商店街振興組合:宇治橋通り商店街 プレミアム付き商品券(販売促進)891,000円 ○宇治源氏タウン銘店会:源氏タウンタオール景品(販売促進)460,000円 	<ul style="list-style-type: none"> ○炭山陶器まつり実行委員会:炭山陶器まつり(情報化対策)500,000円 ○平等院表参道商店会:藤の花(活性化対策)216,000円 ○宇治観光土産品組合:「GET SMILE宇治だヨ!おみやげ集合ギフト～お土産 密にしました」第七弾 御中元バージョン(情報化対策)500,000円 ○宇治橋通商店街振興組合:宇治橋通り商店街 笑顔がいっぱい わんさかフェスタ(活性化対策)1,000,000円 ○宇治商工会議所:「ご当地キャラを活用したWEB漫画」および「海外インフルエンサーを活用した観光PR」による宇治の情報発信事業(情報化対策)474,000円(見込) ○宇治橋通商店街振興組合:宇治橋通り商店街 夏の感謝祭スマイルサタデー クラフトビール夜市(販売促進)2,000,000円 ○協同組合平和堂同友店会アル・プラザ宇治東支部:アル・プラザ宇治東専門店街 生活全力応援セール プレミアム付お買物券 令和5年 第1弾 第2弾(販売促進)729,000円 ○タウン100番街商店会:タウン100番街プレミアムチケット(販売促進)211,000円(見込) ○宇治観光土産品組合:「GET SMILE宇治だヨ!おみやげ集合ギフト～お土産 密にしました」第八弾 御歳暮バージョン(販売促進)2,000,000円 ○宇治商工会議所:宇治市観光大使を活用した宇治観光動画発信および誘客キャンペーン(販売促進)2,000,000円(見込) ○協同組合平和堂同友店会アル・プラザ宇治東支部:アル・プラザ宇治東専門店街 生活全力応援セール プレミアム付お買物券 令和5年 第3弾(販売促進)1,104,000円(見込) 	商店街等が行う活性化対策事業等に補助することにより、商店街等の振興に努めることができた。	補助金の書類作成などに不慣れであったり、自身の商売と並行しながらの書類作成であることから、商店街の負担も一定大きい。報告書や領収書の整理等は宇治NEXTによるサポートが必要。 府補助金を併用する事業もあるが、補助金が切れたときも自走していける仕組みを一緒に考える必要がある。	今後も、各商店街等の特性を活かして自立・自主性を高めるとともに、商店街等の活性化に繋がるためのより効果的な支援に努める。
	商店街等が実施するイベントや商店街施設（防犯カメラ等）の設置、情報発信事業等、商店街の効果的な活性化につながる取り組みに対し補助金を交付					

②新たな工業用地の確保

区分	事業内容	R4実績	R5見込	R4・5に実施した事業についての検証（成果）	R4・5に実施した事業についての検証（課題）	今後の方向性（担当課案）
拡充	工業用地の確保	<ul style="list-style-type: none"> ○宇治市の将来の土地利用計画を定める都市計画マスタープランを改定し、産業立地検討エリアを位置づけ（5月） ○地域未来投資促進法に基づく土地利用調整計画を策定 →京都府同意（9月）・変更同意(2月) ○同法に基づき進出意向の企業が行う地域経済牽引事業計画の作成を支援 →京都府承認（1～3月） 	<ul style="list-style-type: none"> ○宇治農業振興計画（農用地利用計画）の変更（1月） ※ものづくりエリア ○都市計画国道24号沿道安田町地区地区計画の決定(1月) ※ものづくりエリア 	地域未来投資促進法に基づく手続きを令和4年度に、農振法に基づく農用地区域除外・都市計画法に基づく地区計画※の決定を令和5年度に完了するなど着実に実施できた。 ※ものづくりエリア	物流エリアにおける手続きの早期着手が必要	ものづくりエリアに係る農地法に基づく農地転用、都市計画法に基づく開発許可の手続きを着実に進めるとともに、物流エリアの手続きの進捗を図る。
	国道24号沿道地区の企業立地に向けた土地利用転換等の取組を実施 産業立地検討エリアのうち、市道宇治槇島線沿道地区・市道宇治白川線沿道地区への産業立地の調査検討					

取組の方向性 市内産業の進化・発展

取組の柱 (2) 市内産業の成長支援

①販路拡大の支援

区分	事業内容	R4実績	R5見込	R4・5に実施した事業についての検証（成果）	R4・5に実施した事業についての検証（課題）	今後の方向性（担当課案）
拡充	市内事業者や市内産品の情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ○夏休み期間に小学生向けイベント「宇治こども夏まつり ものづくりフェス&ツアー」を開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりフェス=7/23（土）7社、申込不要、95組342名（うち子ども179名）参加 ・ものづくりツアー=8/2（火）8/6（土）8/22（月）、各日2社、延べ99組234名（うち子ども129名）申込、10組25名（うち子ども15名）参加 ○上記イベント開催にあたり、自社を掘り下げ、子どもにも分かりやすい説明を行うためのワークショップを開催（6/16、6/30） ○デザインウィーク京都期間中（2/18）に宇治ツアーを開催 <ul style="list-style-type: none"> ・23人（うち子ども13人）参加 ○企業情報誌の作成（8社を新規掲載、2月発行） 	<ul style="list-style-type: none"> ○夏休み期間に小学生向けイベント「宇治こども夏まつり ものづくりフェス&ツアー」を開催【資料07】 <ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりフェス=8/5（土）5社、延べ82組181人（うち子ども99名）申込 延べ57組140人（うち子ども71名）参加 ・ものづくりツアー=8/24（木）8/25（金）各日2社、延べ78組165名（うち子ども98名）申込、6組16名（うち子ども10名）参加 ○小学生向けイベント「宇治こどもものづくりフェス in アルブラ・マルシェ」を開催【資料08】 <ul style="list-style-type: none"> ・10/21（土）3社 延べ44組109人（うち子ども65名）参加 ○オープンファクトリーツアーの開催（3月開催予定） ○企業情報誌の作成（8社を新規掲載、2月発行予定） 	<p>小学校にチラシ配布を依頼した効果が大きかった。また、夏休みという時期がニーズにマッチしていた。</p> <p>フェス・ツアーともに想定より多くの参加者や申込者があり、当該事業のニーズを確認できた。</p> <p>フェス・ツアーともに「市内の企業を知ることができた」、「製造業に興味をもった」などの意見があった。</p>	<p>R4ものづくりフェスについては、来場者が会場の広さに対して多すぎて混雑していた。</p> <p>ものづくりツアーについては、申込に対して当選者が少ないため、参加したくても多くの方が参加できなかった。</p> <p>ものづくりフェス・ツアーともに参加企業が固定化しつつあり、新たな参加企業を呼び込む必要がある。</p>	<p>夏休み期間に実施する親子・学生向けのものづくりイベント、オープンファクトリーは、参加希望者が多く、引き続き実施していきたい。</p> <p>ものづくりイベントへの参加企業を増やすため、企業訪問時等に積極的に周知を行う。</p> <p>「市内事業者バンク」については引き続き検討を行う。</p>
	宇治のうまいもん発信事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ○YouTube「宇治飯うまいもんチャンネル」撮影店舗：16店（延べ54店舗）視聴回数：44,066回（60,651回） ○YouTube「宇治飯うまいもんチャンネル」の認知度を高め、集客促進を図るため、Instagramを活用した公式アンバサダー10名を募集 <ul style="list-style-type: none"> 募集期間：11/1～11/30 Instagram投稿件数（店舗来店数）・・・243件 Instagramアカウントリーチ数・・・113,000人 	<ul style="list-style-type: none"> ○YouTube「宇治飯うまいもんチャンネル」撮影店舗：12店（延べ66店舗）視聴回数：168,523回（229,174回） ○YouTube「宇治飯うまいもんチャンネル」の認知度を高め、集客促進を図るため、Instagramを活用した二代目公式アンバサダー10名を募集【資料09】 <ul style="list-style-type: none"> 募集期間：11/1～11/30 Instagram投稿件数（店舗来店数）・・・事業実施中 Instagramアカウントリーチ数・・・事業実施中 	<p>YouTubeによる動画配信で、飲食店等の情報と魅力を効果的に発信することができた。</p> <p>また、キャンペーン（イベント）の実施により、SNSによる拡散力を活用した宇治飯のさらなる認知拡大と、地域の人が地域の飲食店を訪れるという地域回遊の創出に繋げることが出来た。</p>	<p>まだまだ知られていない市内飲食店等の情報発信に努める必要があり、宇治飯ブランドの認知拡大が急務。</p> <p>併せて、多様なコンテンツとの組み合わせやイベント企画によって効果的な展開を行っていきたい。</p>	<p>昔ながらの魅力ある飲食店だけでなく、最近オープンしたばかりの飲食店等の情報発信にも力を入れるべく、創業支援との連携も図っていきたい。</p>
拡充	市内産農産物の流通促進や商談会の実施	<ul style="list-style-type: none"> ○農業情報発信事業 <ul style="list-style-type: none"> 宇治を食べようキャンペーン <ul style="list-style-type: none"> ・参加農業者：12名 ・参加飲食店：24件 ・マッチング件数：14件 「宇治を食べようキャンペーン」に先立ち、「マッチング商談会」を開催 <ul style="list-style-type: none"> 8/30 <ul style="list-style-type: none"> ・農業者8名 ・飲食店10件 	<ul style="list-style-type: none"> ○「マッチング商談会」の開催 <ul style="list-style-type: none"> 8/9 <ul style="list-style-type: none"> ・農業者8名 ・飲食店等11件 ○京都食ビジネスプラットフォームのプロデューサーと若手農家の交流会 <ul style="list-style-type: none"> 2月22日開催予定 ○「京都フードテック基本構想」に基づく南部市場オープンイノベーションラボ開設に向けたシンポジウム <ul style="list-style-type: none"> 2月27日開催予定 	<p>宇治を食べようキャンペーンや商談会において、紹介シートの作成・活用などによって、市内農業者と飲食店等事業者のマッチングを促進することができた。</p>	<p>農家の経営規模や集荷・配荷の課題などに対応した多様な販路拡大支援が求められる。</p>	<p>生産物の出口（最終購入手段）の把握と幅広い販路拡大支援を行う。</p>

区分	事業内容	R4実績	R5見込	R4・5に実施した事業についての検証（成果）	R4・5に実施した事業についての検証（課題）	今後の方向性（担当課案）
継続	展示会への合同出展	○令和3年3月に実施した合同出展について、後追い調査を実施。 【出展成果】（令和4年9月末時点） ・見積総件数：26件 ・見積総額：約3,700万円 ・成約総数：18件 ・成約総額：580万円	○令和6年6月開催の日本ものづくりワールド（機械要素技術展、会場：東京ビックサイト）への出展に向けた、市内中小製造業の出展者募集、出展ブースの計画等、出展準備を実施。	令和3年度に実施した東京ビックサイトで開催された機械要素技術展への合同出展では、令和4年9月末時点で見積依頼26件約3,700万円、成約18件約580万円、進行中29件と一定の成果を確認出来たため、令和5年度については、令和6年6月開催の日本ものづくりワールド（機械要素技術展、会場：東京ビックサイト）の出展申込を行った。	成果については成約まで長期間を要するものもあり、引き続き後追い調査が必要。	令和6年度の展示会については、来場者の回復が顕著で、前回出展時の約3～4倍の集客が見込めるため、それに対応した準備を行う。
	ベンチャー企業をはじめ小規模の製造業が自社の製品や技術等を広くPRし、販路拡大につなげるため、首都圏や海外で開催される展示商談会への合同出展を実施					
継続	展示会への出展補助	○制度内容を令和3年度に引き続き拡充し支援企業毎の総上限額を撤廃（3年度で上限100万円⇒なし） 1年度あたりの上限額を拡充（40万円/年度⇒60万円/年度） 補助率の拡充（1/2⇒4/5） ○展示会出展支援助成事業助成金実績30件 【出展展示会の例】 JIMTOF2022 ギフトショー（東京）等	○制度内容を緩和し支援企業毎の総上限額を撤廃（3年度で上限100万円⇒なし） ○展示会出展支援助成事業助成金申請見込35件（12/31時点26件） 【出展展示会の例】 メカトロテックジャパン2023 ギフトショー（東京）等	コロナ禍で落ち込んだ売上を回復する目的で、新規顧客開拓を積極的に進めるため、各種展示会への出展機運が活発化しており、出展補助の拡充によって、市内中小企業が積極的に出展している。	展示会の開催が活発になってきており、それに伴って申請も増加しているため対応する予算の確保が必要。	withコロナに移行し、市内企業の業績が回復する段階になれば、従前の支援内容に戻す必要がある。
	市内中小企業が自社の製品等を展示会等に出品する場合の経費の一部を補助					
継続	商工会議所と連携した販路拡大の促進	○商工会議所が実施する特別事業に対して市補助金を交付（商業活力再生支援事業費補助金） 上限額300万円/年 ・地場産品PR事業（食品展示会出展） ・インターネット通販サイトを活用した市内事業所PR ・市内消費喚起促進事業（イベント開催）等	○商工会議所が実施する特別事業に対して市補助金を交付（商業活力再生支援事業費補助金） 上限額300万円/年 ・地場産品PR事業（食品展示会出展） ・インターネット通販サイトを活用した市内事業所PR ・市内消費喚起促進事業（イベント開催）等	「FOOD STYLE Japan2023」への市内事業者出展サポート 「京都宇治土産.com」により地域産品・地域情報を発信 ご当地キャラクター活動にて国内外での誘客・消費喚起・魅力を発信	より多くの方に効果的に地域産品を購入していただけるよう、実施内容の精査・検討が必要。	商業分野における創業・企業支援や地元事業者の新商品創出促進強化、小規模事業者の経営改善等を図るため、引き続き補助金を交付する。
	商工会議所が実施する事業者の国内外への販路開拓支援や商店街等の賑わいを創出する事業等に対し補助金を交付					
継続	海外輸出の支援	○R4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止	○新型コロナウイルス感染症は5類に移行したが、海外での展示会や店舗出店について、現地（アメリカ）では対面実施する風潮でないため中止	R4年度、R5年度は中止	現地での実施が難しい場合、事業者のニーズも踏まえ、オンライン等を活用した海外輸出支援の実施・検討が必要。	海外輸出支援の対象となる補助事業（商業活力再生支援事業）は、国内の販路開拓及び人材育成、にぎわい創出も対象としているため、引き続き補助金を交付する。
	市内事業者の海外輸出を支援					

②生産性の向上や付加価値の増加に対する支援

区分	事業内容	R4実績	R5見込	R4・5に実施した事業についての検証（成果）	R4・5に実施した事業についての検証（課題）	今後の方向性（担当課案）
新規	高収益作物への転換支援	○園芸作物用施設整備支援事業 支援件数：2件	○園芸作物用施設整備支援事業 支援件数：5件	若手農業者を中心とした園芸作物栽培の拡大を支援できた。畑作やハウス栽培に必要な井戸の新設を支援できた。	制度新設時は活用があったが新規の取組は多くなく、継続した支援策が求められる。	農業者からのフィードバックなどを受け、支援内容について適宜見直しを図る。
	ハウスの設置等の高収益作物への転換を支援	○新規水源確保支援事業 支援件数：4件	○新規水源確保支援事業 支援件数：0件			
拡充	農業経営の安定化・効率化への支援	○スマート農業技術導入支援事業 支援件数：1件	○スマート農業技術導入支援事業 支援件数：0件	農作業の効率化を図るスマート農業技術の導入を支援できた。	家族経営が多く、収益面や人材確保について課題があるものの、直ちに改善できる体制でない。	希望する個人農業者のスムーズな法人転換など経営体制の整備へ支援を行う。
	経営の専門家活用や経営計画の策定、付加価値向上・販路拡大に資するICT活用等の新技術導入等、農業経営の安定化や効率化への支援	○農業経営レベルアップサポート事業 支援件数：0件	○農業経営レベルアップサポート事業 支援件数：0件			
拡充	設備投資への支援	○先端設備等導入支援事業 先端設備等導入支援補助金を新規事業として創設 補助件数：12件（設備数：14件） 補助金額：6,052千円	○先端設備等導入支援事業 先端設備等導入支援補助金 交付決定件数：22件（設備数：34件）（1/16時点） 補助見込額：13,097千円（1/16時点）	先端設備等導入計画により労働生産性の向上等の要件が確認された設備投資のうち、国や京都府等が実施する補助金等を活用できない設備投資について支援を行うことができた。 また、令和5年度については制度拡充を年度途中に行い、先端設備等導入計画に従業員の賃上げ方針の表明を位置付けた事業者に対しては補助上限を引き上げることで、事業者の積極的な従業員に対する賃上げに寄与することができた。	対象となる設備については国が制度設計を行っている先端設備等導入計画における税制支援を受ける際の設備要件を満たしているものとしているが、現行の先端設備等導入計画については令和7年3月末までの制度である。	国や京都府等が実施する補助制度も周知を行い、事業者にとって最適な補助制度を活用できるよう支援を続ける。
	先端設備等の取得に要する経費とDX推進にかかる経費の一部を補助 また、生産性や生産効率の向上等、現場改善や経営力向上のための設備投資に対する低利融資の拡充					
拡充	委託研究等に対する補助	取り組み無し	取り組み無し			現在実施している産学連携交流促進事業により、産学連携を実施する事業者が活用しやすい制度となるように、企業ニーズの把握に努め、令和7年度からの新規事業を目指す。
	技術革新のために行う産学連携事業や大学等に研究委託等を実施する場合の経費の一部を補助					

区分	事業内容	R4実績	R5見込	R4・5に実施した事業についての検証（成果）	R4・5に実施した事業についての検証（課題）	今後の方向性（担当課案）
継続	低利融資制度の実施	○宇治市中小企業低利融資制度（マル宇）を実施（信用保証料と利子の一部への補助も実施）	○宇治市中小企業低利融資制度（マル宇）を実施【資料10】（信用保証料と利子の一部への補助も実施）	市内事業者に対し、事業資金の低利融資や保証料・利子の補給などを行うことにより、中小企業経営の安定化に努めることができた。	市の財政負担の在り方として今後どうしていくのかを随時検討が必要。	今後も健全な事業資金供給を行うため、効果的な融資及び補給などの支援に努める。
	市内事業者の経営の安定を図るため、事業資金として低利・無担保での融資を実施、あわせて保証料や利子の一部を補給	○小規模事業者経営改善資金（マル経）の利子の一部への補助	○小規模事業者経営改善資金（マル経）の利子の一部への補助			
継続	先端設備導入に係る償却資産税の減免	○先端設備導入計画の認定件数 32件（新規11件、変更21件） ※主に、製造業の事業者が機械装置の設備投資を実施	○先端設備導入計画の認定件数 30件（1/16時点）（新規27件、変更3件） ※令和5年度の税制改正により令和5年4月1日以降に初めて先端設備等導入計画の認定申請を行う場合は、全て新規申請	先端設備等導入計画の認定を受けた設備に対する補助金の実施により、制度周知を改めて行えた。	事業者が認定申請を行う際に必要となる添付書類を作成する「認定経営等革新支援機関」に対して国が行うべき周知が不足している（本制度の制度設計は国が実施）	本制度は令和6年度末までの制度となっているため、令和7年度以降については国の動向に注視したい。
	先端設備等導入計画を策定する企業に対して、導入予定の設備等にかかる固定資産税を最大3年間免除					
継続	資格取得に対する補助	○補助金助成件数6件	○補助金助成件数見込4件	コロナの影響により、令和2年度まで免許・資格取得の研修会中止等の影響で交付申請がなかったが、令和3年度から申請件数が回復した。	申請件数は概ねコロナ影響前程度に回復しており、継続した実施が必要である。	引き続き人材育成支援施策として、補助を継続していく。
	従業員のスキルアップ（資格・免許等の取得や研修会等の受講）に要する経費等の一部を補助					

③円滑な事業承継の支援

区分	事業内容	R4実績	R5見込	R4・5に実施した事業についての検証（成果）	R4・5に実施した事業についての検証（課題）	今後の方向性（担当課案）
拡充	<p>経営者やアトツギのコミュニティ形成の支援</p> <p>市内事業者の大きな課題となっている事業承継をテーマとしたセミナー及び交流会等の開催 これから後を継ぐ人、後を継いで間もない社長、ものづくり企業後継ぎ社長等のアトツギを繋ぐネットワーク化の推進</p>	<p>○京都信用保証協会とアトツギ（事業承継）に関するプログラムを開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1期（7/27、8/25） テーマ：ブランディング・商品開発（参加者11名） ・第2期（9/14、10/12） テーマ：会計（税務・財務）（参加者8名） ・第3期（11/24、12/8） テーマ：売れる仕組みづくり（参加者10名） ・第4期（2/9、2/22） テーマ：新たなビジネスモデルの構築（参加者15名） ・Meet-Up（12/14）講演+交流会（参加者22名） ・Meet-Up（3/23）講演+交流会（参加者16名） <p>○宇治市内企業後継者育成セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全4回（10/20、11/17、1/19、3/2） 参加者数10/20 8名、11/17 8名、1/19 7名、3/2 7名 	<p>○京都信用保証協会とアトツギ（事業承継）に関するプログラムを開催【資料11】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アトツギらぼ LEADERS CAMP（9/21、10/6、10/18、11/8、12/2）16名 <p>○宇治市内企業後継者育成セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナー&交流会：全6回 7/6 7名、8/3 6名、9/26 7名、11/28 5名、2/7（予定）、3/13（予定） 	<p>アトツギらぼ（小規模で継続的な交流会・セミナー等）については、参加者による学びの創出とアトツギコミュニティの形成ができた。</p> <p>また、プログラムの参加を通じて家業を引き継ぐことを決めたアトツギまで現れた。アトツギの前向きな行動変容も起きており、今後も各機関と連携しながら事業の発信に努め、新たなアトツギの掘り起こしを図っていく。</p> <p>この他、中小企業庁が発行する2023年版「中小企業白書」に宇治市の後継者支援の取組が掲載されるなど、多方面で本市の取組に注目いただいている。</p> <p>宇治市内企業後継者育成セミナーの目的の一つとして後継者同士の交流を深め、お互いに相談、研鑽できる関係を築き、新たな経営者間のネットワークの構築を掲げているが、着実に交流が深まっている。</p>	<p>引き続き地域に潜んでいるアトツギの掘り起こしを行う必要がある。</p> <p>また、アトツギが行う新規事業や組織開発において、支援機関側に伴走支援する体制が十分でない。各種支援機関に繋ぐ程度にとどまっている。</p> <p>これまでに実施したセミナー、交流会を通じて構築された関係性をより強固なものにしていくために、セミナーコンテンツをどうしていくかが課題である。</p>	<p>後継者選定の第一候補者であるアトツギを重点的な支援対象とするもの、地域のニーズや状況を調査し、第三者承継等の可能性も探っていく。</p> <p>受講者やこれまで開催したセミナーの講師とも相談しながら、今後のセミナーコンテンツやその他イベントの内容を検討していく。</p>
	拡充	<p>担い手への農地集積を支援</p> <p>農業を担う次世代へ農地集積を促進し、面積規模拡大と、合わせて市内農業者への集積を加速させるよう支援</p>	<p>農地中間管理事業 貸借：7件 1.52ha</p>	<p>農地中間管理事業 貸借：7件 1.52ha</p>	<p>土地所有者から貸付け希望があった農地に対し、借受けを希望する担い手に集積するよう配慮してマッチングを行い、農地の貸し付けを行った。</p>	<p>貸付希望者のさらなる掘り起こしが必要。</p>

取組の方向性 市内産業の進化・発展

取組の柱 (3) 人材不足への対応

①雇用の確保

区分	事業内容	R4実績	R5見込	R4・5に実施した事業についての検証（成果）	R4・5に実施した事業についての検証（課題）	今後の方向性（担当課案）
拡充	WEBを活用した雇用・就労支援	取り組み無し	○人材確保を目的とした企業紹介動画コンテンツの制作（宇治市内企業PR動画作成事業） 制作対象企業数：12社	制作を行った事業者については求職者向けの1～3分の動画と20秒程度のショート動画の作成を行うことができた。	想定より申込件数が少なかった。	動画を活用した人材確保について事業者に必要なと感じてもらった取組（セミナー）や、ニーズについて改めて見直しを行う。 また、製造業以外にも対象とする検討を行う。
	求職者に向けたプロモーション動画を市内事業者が作成する支援を実施					
拡充	産学交流の推進	○京都大学宇治キャンパス産学交流会の案内を宇治NEXTメルマガで配信 ・第42回：市内事業者から8名参加 ・第43回：市内事業者から4名参加 ・第44回：市内事業者から1名参加 ・第45回：市内事業者から4名参加 ○京都工芸繊維大学「技術交流会」の案内を宇治NEXTメルマガで配信 ・市内事業者から2社参加 ○年4回、大学の見学会や大学との交流会（産学連携交流事業）を開催 ・第1回（10/11）＝京都先端科学大学 大学紹介・工学部説明、工房見学、スマートファクトリー見学、意見交換 他 10社11名が参加 ・第2回（12/7）＝京都工芸繊維大学 大学における産学連携の取組紹介、学生と教員のプロジェクト紹介、オープンファシリテーションの見学、企業と大学の意見交換 他 4社6名が参加 ・第3回（12/15）＝龍谷大学 REC紹介、産学連携についてポイントと事例紹介 デジタル・クリエイション・ホール見学、STEAM コモンズ見学、研究室見学（シーズ発表）、先端理工学部の紹介、大学教員・スタッフとの名刺交換会 7社7名が参加 ・第4回（12/20）＝立命館大学 BKCインキュベータ見学、SRセンター見学、産学連携の取組紹介 4社5名が参加	○京都大学宇治キャンパス産学交流会の案内を宇治NEXTメルマガで配信 ・第46回：市内事業者から9名参加 ・第47回：市内事業者から1名参加 ・第48回：市内事業者から2名参加 ・第49回：2月開催予定 ○京都工芸繊維大学 プロダクトデザインセミナー 第1回：2/6 講義（予定） 第2回：2/13 プレーンストーミング（予定）	産学連携交流事業がきっかけで京都工芸繊維大学のシーズ発表会である技術交流会を新たに市内事業者へ案内出来た。 産学連携交流事業について、今年度実施した参加企業へのアンケートにおいては、産学連携の参考になったと高い評価を得た。また参加企業の多様な関心やニーズを知ることが出来た。	市内事業者の規模では開発に長期の期間や費用を投じることが現実的ではなく、大手企業が実施しているような産学連携は困難である。その中で、大学との連携や研究室、学生との関わりが生まれる事業を実施していく必要がある。	市内事業者の産学連携ニーズを把握しつつ、多様な大学の研究テーマやシーズ紹介ができるよう情報収集に努める。
	京都大学宇治キャンパス産学交流会への市内事業者の参加促進とともに、理系大学研究室との交流セミナーを実施し、近畿圏内の理系大学を中心とした産学交流を推進					
拡充	市内事業者や市内産品の情報発信【再掲】	【P.04（2）①に掲載】				
	市内製造業や伝統産業をPRするためのオープンファクトリー（工場や工房見学）の開催（一般向け、親子・学生向け）や、市内事業者や市内産品等の情報を情報誌やウェブサイトに掲載 市内事業者・起業家・商店街等を登録した「市内事業者バンク」を創設し、学校でのキャリア教育や地域でのノウハウの提供等、地域と事業者を繋ぐ取り組みを推進					

区分	事業内容	R4実績	R5見込	R4・5に実施した事業についての検証（成果）	R4・5に実施した事業についての検証（課題）	今後の方向性（担当課案）
継続	会社説明会の開催	○会社説明会を開催2回【資料12】 11/17 参加事業者3社：求職者8名 1/26 参加事業者6社：求職者30名	○会社説明会を開催3回【資料13～14】 6/21 参加事業者7社(8社予定だが台風で1社辞退)： 求職者34名 9/21 (パート) 参加事業者5社：求職者13名 11/21 (就職氷河期世代支援) 参加事業者3社：求職者15名 3/1 (マザーズ) 参加事業者4社(予定) 求職者：30名程度を予定 ※ () 内はテーマ	一定の求職者のニーズには応えられている。	参加事業者・求職者に対する周知方法が課題。	市内事業者の人材確保と就労支援のため引き続き実施していく。
	市内事業者の人材確保等を目的に、ハローワーク、宇治商工会議所、京都ジョブパークと連携した会社説明会を開催					
継続	合同企業説明会の開催	○製造業の合同企業説明会を開催【資料15】 3/9 (木) 開催 メルパルク京都撤退に伴い、R04年度から開催場所を京都産業会館（京都経済センター内）に変更 出展社数：18社 求職者数：26名 就職・内定者数：4名	○製造業の合同企業説明会を開催【資料16～17】 3/7 (木) 開催 開催場所：京都産業会館（京都経済センター内） 出展社数：20社	4社に対して就職・内定の成果に結びついた。 就職1名・内定2名（延べ3名） 宇治市内・製造業・対面で行っているため、求職者の来場者数は少ない中で成果に結びついた。 令和5年度は参加可能社数限界の申し込みがあり、企業側のニーズは高い。	就活時期や手法の移り変わりにより、来場者数が少ないことが喫緊の課題である。	求職者に対する認知度向上の取組として求職者向け広報の強化（大学を通じた周知時期の見直しや直接的広報の実施）を行う。 知名度の高い宇治市内製造業にも参加してもらい来場者数を上げ、その他企業にシャワー効果を派生させていく（令和5年度から大企業も参加可に）。
	市内製造業の人材確保を支援するため、合同企業説明会等を開催					

②人材不足を補う取組への支援

区分	事業内容	R4実績	R5見込	R4・5に実施した事業についての検証（成果）	R4・5に実施した事業についての検証（課題）	今後の方向性（担当課案）
拡充	設備投資への支援【再掲】					
	先端設備等の取得に要する経費とDX推進にかかる経費の一部を補助 また、生産性や生産効率の向上等、現場改善や経営力向上のための設備投資に対する低利融資の拡充					

【P.06（2）②に掲載】

取組の方向性 交流・連携の強化

取組の柱 (4) 企業間や産学交流の推進

①異業種交流等の促進

区分	事業内容	R4実績	R5見込	R4・5に実施した事業についての検証（成果）	R4・5に実施した事業についての検証（課題）	今後の方向性（担当課案）
新規	市内ものづくり企業の交流促進					
	商工会議所工業部会の交流会やVIF入居企業による事業報告会等による企業や事業者間の交流を促進			○宇治市内企業後継者育成セミナー 【P.08「経営者やアトツギのコミュニティ形成の支援」に掲載】 ○年4回、大学の見学会や大学との交流会 【P.09「産学交流の推進」に掲載】		
拡充	異業種交流会の開催	○交流セミナー開催 ・地元企業×学生交流会（5/13）学生15名、企業7社 ・新規事業支援セミナー（6/23、7/13） ・Zoom活用講座（6/27）12名 ・デザインの考え方講座（10/26）19名 ・SNS運用講座、創業支援セミナー 等	○交流セミナー開催【資料18～21】 ・Open Talking スナックby TIP*S（5/26）9名 ・新規事業ボードゲーム（6/16）5名 ・うじ創業セミナー （9/14、9/28、10/12、10/26、11/9、11/21、12/5、12/7）30名 ・ビジネス思考のキホンのキ（11/10、11/24）10名 ・自分ブランド塾（1/26）20名 等	事業者間の取引拡大等を目的としたセミナー及び交流会などの実施により、参加者同士で積極的にコミュニケーションを図り、事業のマッチング及び取引が成立するなど交流連携が強化された。中でもうじらぼで開催されるイベントを通じて創業初期の事業者間における事業取引は活発化している。	交流セミナーや異業種交流会等のイベント開催においては、人的ネットワークの拡大や事業者間のマッチングは増えてきているものの、うじらぼコワーキングスペースにおける人的な情報の共有化および適切なマッチングが図れていない。	事業連携及び新たな価値の創出に向けて、今後も引き続き効果の検証をしつつ、うじらぼをHUBにした各種交流イベント等を継続して実施していく。
	市内の企業や事業者のマッチング、先進的な取組を実施している市内の企業や事業者の知識や情報の共有を図ること等を目的として、企業や事業者を対象とした交流会を、うじらぼ等を活用して実施	○交流会開催 ・経営セミナー+社員向けワークショップ ・副業・パラレルキャリア はじめの一歩 ○QUESTION連携 ・うじ魅力FES in QUESTION（7/2）約500名超の来場	○交流会開催【資料22～23】 ・地域クラウド交流会（7/14）169名 ・うじらぼ大学デザインゼミ（11/2、11/16、12/6、12/21）17名 ○起業家支援プログラム（3/2予定）			
拡充	産学交流の推進【再掲】					
	京都大学宇治キャンパス産学交流会への市内事業者の参加促進とともに、理系大学研究室との交流セミナーを実施し、近畿圏内の理系大学を中心とした産学交流を推進			【P.09（3）①に掲載】		
拡充	農商工が連携した商品開発や新ビジネスの支援					
	農商工連携での新たな商品の開発や新たな生産手法により、農業生産額を向上させるため、生産者と加工・販売事業者等のマッチング等を実施			【P.04（2）①「市内産農産物の流通促進や商談会の実施」に掲載】		

取組の方向性 交流・連携の強化

取組の柱 (5) 市内産業の情報発信

①魅力的な市内事業者情報の発信

区分	事業内容	R4実績	R5見込	R4・5に実施した事業についての検証（成果）	R4・5に実施した事業についての検証（課題）	今後の方向性（担当課案）
拡充	市内事業者や市内産品の情報発信【再掲】					
	市内製造業や伝統産業をPRするためのオープンファクトリー（工場や工房見学）の開催（一般向け、親子・学生向け）や、市内事業者や市内産品等の情報を情報誌やウェブサイトに掲載 市内事業者・起業家・商店街等を登録した「市内事業者バンク」を創設し、学校でのキャリア教育や地域でのノウハウの提供等、地域と企業を繋ぐ取り組みを推進					
拡充	宇治のうまいもん発信事業の実施【再掲】					
	市内事業者の応援と街の活性化を図るため、飲食店の「美味しい」料理や製造等の熟練した「上手い」技術等を撮影し、動画で発信					
継続	技能功労者の表彰	○表彰式の開催 表彰式：11/23 表彰者数：8職種10人	○表彰式の開催 表彰式：11/23 表彰者数：5職種5人	技能者の功労を顕彰することで技能尊重の気運を高めることが出来た。	候補者の減少。	技能水準の一層の向上及び技能尊重の気運を高めるため、引き続き実施する。
	技能水準の一層の向上と技能尊重の気運を高めることを目的に、永く同一の職業に従事し、優れた技能を持つ人を表彰					

②宇治ブランドの向上

区分	事業内容	R4実績	R5見込	R4・5に実施した事業についての検証（成果）	R4・5に実施した事業についての検証（課題）	今後の方向性（担当課案）
拡充	<p>観光施策の実施</p> <p>観光振興計画に基づき、豊富な観光資源を生かした、ワンランク上の観光事業に取り組む。また、宇治独自のブランド力を活用した新たな観光事業に取り組むとともに、自然や景観を活かした新たな観光資源の開発に向けた検討を実施</p>	<p>○京の七夕inUjiの実施【資料22】 （実施主体：「京の七夕inUji」実行委員会） 京都ならではの現代版・七夕まつりとして実施されている「京の七夕」を宇治オリジナルの演出を加え実施。（8/4～8/11）</p> <p>○放ち鶴飼&宇治の魅力体験ツアー （実施主体：公益社団法人 宇治市観光協会） 日本で初めて人工ふ化に成功したウミウの「ウッティ」たちが行う、綱を使用せず鶴匠の呼びかけで戻ってくる「放ち鶴飼」と宇治の魅力を体感するツアーを実施</p>	<p>○京の七夕inUjiの実施 （実施主体：「京の七夕inUji」実行委員会） 京都ならではの現代版・七夕まつりとして実施されている「京の七夕」を宇治オリジナルの演出を加え実施。（8/4～8/11） ・8/4～8/11宇治公園他 ライトアップ ・8/4～6、10、11 願いがかなう道</p> <p>○放ち鶴飼&宇治の魅力体験ツアー （実施主体：公益社団法人 宇治市観光協会） 日本で初めて人工ふ化に成功したウミウの「ウッティ」たちが行う、綱を使用せず鶴匠の呼びかけで戻ってくる「放ち鶴飼」と宇治の魅力を体感するツアーを実施 6/4 16人 6/5 19人 6/11 15人 6/17 19人 10/29 16人 11/4 14人 11/19 13人（貸切船） 11/25 中止 11/26 17人</p> <p>○第25回全国鶴飼サミット宇治大会の開催 （実施主体：第25回全国鶴飼サミット宇治大会実行委員会） 21年ぶりに宇治市で開催。 10/19・20 宇治市文センターにて式典、講演会を実施し、一般参加者も含め約200人が参加。</p>	<p>・京の七夕inUjiの実施 宇治エリアでは、中宇治を中心に様々なイベントを実施。夏の夜の宇治の魅力を発信した。</p> <p>・放ち鶴飼&宇治の魅力体験ツアー 日本で唯一の「放ち鶴飼」とともに、宇治市内での体験や周辺での食事を楽しんでいただいた。</p> <p>・第25回全国鶴飼サミット宇治大会の開催 全国各地から鶴飼関係者が一堂に会し、意見交換を行った後、宇治川の鶴飼、放ち鶴飼を見学していただいた。</p>	<p>・京の七夕inUjiの実施 チラシ・ポスターによる広報が直前となったため来年度は広報の時期を早める必要がある。また周遊クーポンの利用率が悪かったため改善が必要である。</p> <p>・放ち鶴飼&宇治の魅力体験ツアー 参加者への付加価値化や、ニーズ把握より、効果的な広報宣伝について引き続き検討していきたい。</p> <p>・第25回全国鶴飼サミット宇治大会の開催 全国各地の鶴飼や講演を聞く貴重な機会であったが、一般参加者が少なかった。</p>	<p>・京の七夕inUjiの実施 引き続き、宇治らしさを活かし夜のにぎわいづくりを推進する。</p> <p>・放ち鶴飼&宇治の魅力体験ツアー 現在は宇治市でしか行われていない「放ち鶴飼」を伝承・推進するとともに、うみうの「ウッティ」を活かした情報発信を行う。</p>
	<p>魅力発信事業の実施</p> <p>市民、事業者、関係団体、インフルエンサー等の多様な主体と協働し、宇治市の様々な魅力を発信</p>	<p>○市民参加型写真展の開催 京都文教大学と連携して、市民参加型の写真応募イベント「宇治ふおと！」を開催 ・イベント開催にあたりママさんフォトグラファーによるスマホ写真教室を開催（11/23=4組、12/14=10組） ・応募写真を、宇治橋商店街に展示</p> <p>○ファミトリップの実施 大阪観光局の留学生支援の取組として、アジアや欧米からの留学生を対象としたファミトリップを実施（6/11）</p> <p>○ツーリズムEXPOジャパンへの参加 お茶の京都DMOとして、ツーリズムEXPOジャパンに参加し、観光事業者との商談を実施（9/22～23）</p> <p>○観光PR動画の活用及び宇治市観光大使等によるPR 宇治市の観光PR動画を活用した情報発信を実施。また、宇治市観光大使による情報発信を実施</p>	<p>○ツーリズムEXPOジャパンへの参加 お茶の京都DMOとして、ツーリズムEXPOジャパンに参加し26.27日は観光事業者との商談を実施、28日は一般客に向けてのPRを実施。（10/26～28）</p> <p>○宇治市観光大使等によるPR 宇治市観光大使を活用し宇治市でのライブやイベントなどを通じ情報発信を実施。</p> <p>○親子で宇治文化の魅力発見 ・夏休み企画 36人参加 ・秋・冬企画 今後開催予定</p> <p>○ファミトリップの実施 留学生を案内するファミトリップを実施（2月実施予定）</p> <p>○市民参加型写真展の開催 京都文教大学・短期大学と連携して、市民参加型の写真応募イベント「宇治ふおと！～君の光（ピカ）イチものがたり～」を共催。 ・開催にあたりママさんフォトグラファーによるスマホ写真教室を開催（11/18=4組、12/13=8組） ・応募写真を宇治橋通り商店街内の協力店舗、また集会所に一括展示（2/3～2/24）</p> <p>○光る君へ 宇治 大河ドラマ展 ～都のたつみ 道長が築いたまち～ 3/11～1/13に、お茶と宇治のまち歴史公園 交流館 茶づなにおいて実施。</p> <p>○小倉から広がるにぎわい創出 市内の周遊観光を活性化させるため、小倉地域と中宇治地域をつなぐ取組を実施。 ・バスのラッピング広告 ・観光ガイドの作成</p>	<p>・ツーリズムEXPOジャパン 商談では、宇治市の最新情報を中心に、各旅行会社の旅行形態や求める商材に応じた案内を行った。</p> <p>・宇治市観光大使等によるPR 宇治市でのイベント参加や来訪の際に、今後の活動や宇治市の取組について情報交換を行った。</p> <p>・親子で宇治文化の魅力発見 夏企画では、興聖寺でのデイキャンプを実施し、参加者には薪割りや釜戸での調理などお寺でしか体験できない非日常を味わっていただいた。</p> <p>・市民参加型写真展の開催 写真展が商店街に足を運ぶきっかけとなった。 スマホ写真教室には定員を超える募集があった日もあり、写真展への応募の入り口となった。</p>	<p>・ツーリズムEXPOジャパン 商談中に、旅行商品造成の具体的な話になることが多く、出展者として参加する人の検討が必要である。</p> <p>・宇治市観光大使等によるPR 観光大使との情報交換、共有を密に行い、大使を活用した情報発信を促進する必要がある。</p> <p>・親子で宇治文化の魅力発見 開催日によって参加人数に偏りがあったため、参加者の声をもとに構成する必要がある。また、参加者によるSNS発信が少なかった。</p> <p>・ファミトリップの実施 ツアーコースの検討なども含め年間を通じ準備、実施していきたい。</p> <p>・市民参加型写真展の開催 宇治の魅力発信につながる内容となるよう手法を含めて検討が必要。</p> <p>・市民参加型写真展の開催 昨年度からは増えたものの、関係者からの応募が多く、一般の方からの応募が伸び悩んでいる。商店街内の店舗に展示しているため、応募者より見に行きにくいとの意見があった。</p>	<p>・ツーリズムEXPOジャパン 今後も旅行会社との情報交換を行っていきたい。</p> <p>・宇治市観光大使によるPR 引き続き観光大使との連携を行い、宇治の魅力をあらゆる角度から発信していただく。</p> <p>・親子で宇治文化の魅力発見 野外活動施設を活用し、宇治にある豊かな自然とその四季を感じていただけるような取組を推進する。</p> <p>・ファミトリップの実施 あらゆる国の方々に、宇治の魅力を知っていただけるよう取り組んでいきたい。</p> <p>・市民参加型写真展の開催 宇治の魅力発信につながる内容となるよう手法を含めて検討が必要。</p> <p>・光る君へ 宇治 大河ドラマ展 市民だけでなく多くの観光客に訪れてもらうようPRを充実させる。</p> <p>・小倉から広がるにぎわい創出 小倉地域と中宇治地域をつなぐ取組を実施することで、効果を市内広域的に波及させていく。</p>

区分	事業内容	R4実績	R5見込	R4・5に実施した事業についての検証（成果）	R4・5に実施した事業についての検証（課題）	今後の方向性（担当課案）
拡充	各種PR事業の実施	○山城マルシェ ・7/12、10/18、11/15、12/13、1/17（5回開催）	○山城マルシェ ・6/13、7/11、10/10、11/14、12/12、1/16（6回開催）	各事業において市内の農業者・農産物の情報を発信できた。	あぐりPR委員会でのイベント出展は開催の事前広報に調整・工夫が必要である。 また、情報発信や生産物のPRが出口（消費者の需要）につながる必要がある。	人が集まるイベントへの出展等により、引き続きPRを行う。
	山城マルシェや宇治のうまいもん発信事業等、ツールや市内外の場所を問わず、様々な場面での市内の農業や農産物のPRを実施	○農業情報発信事業 宇治を食べようキャンペーン 【市内産農産物の流通促進や商談会の実施】に記載 宇治あぐりPR委員会 ・ナチュラルマルシェ：3団体出展 ・全国お茶まつり：11団体出展 ・お茶の京都大茶会：1団体出展	○農業情報発信事業 宇治あぐりPR委員会 （出展イベント名、出展団体数） ・お花見市場一般開放：1 ・植物公園緑のウォークラリー：1 ・「やましろの恵」試食会：1 ・親子で体験 種まき・収穫：1 ・アクトバル秋まつり：6 ・秋の市場一般開放：1 ・植物公園ハロウィンパーティ：1 ・六徳健康フェスタ：2 ・植物公園紅葉フェスタ：1 ・JAまつり：3 ・近畿歴史まちづくりサミット：1 ・うーちゃフェスタ：1			
拡充	市内産宇治茶ブランドの向上に向けた施策の実施	○高品質茶ブランド力強化事業（45件6,302千円） 高品質茶推進事業 36件3,525千円 優良茶園振興事業 9件2,777千円 宇治茶海外輸出支援事業 0件	○高品質茶ブランド力強化事業（63件8,994千円） 高品質茶推進事業 57件6,833千円（申請） 優良茶園振興事業 5件2,111千円（申請） 宇治茶海外輸出支援事業 1件50千円（申請）	・高品質茶ブランド力強化事業を実施することにより、各種茶品評会で大臣賞及び産地賞を受賞することが出来た。	・府外のイベントへ出展する機会が少なく、府外の方へ市内産宇治茶のPRができなかった。	・高品質茶ブランド力強化事業は高品質な茶生産につながっていると考えられるため今後も引き続き実施していく。
	市内産宇治茶の品質維持・向上に向けた支援を継続して実施し、品評会での農林水産大臣賞や産地賞受賞による市内産宇治茶のブランド化を図る。 また、各種イベントへ参加し、市内産宇治茶の市内外へのPRを強化	○各種茶品評会 第74回関西茶品評会 大臣賞、産地賞受賞 第76回全国茶品評会 大臣賞、産地賞受賞 ○イベント出展 11/13ソルコン（岡崎公園） 11/19・20全国お茶まつり（茶づな他） 1/8うーちゃフェスタ（産業会館） 2/4・5 お茶の京都大茶会in渋谷キャスト（東京都渋谷区）	○各種茶品評会 第75回関西茶品評会 大臣賞、産地賞受賞 第77回全国茶品評会 大臣賞、産地賞受賞 ○イベント出展 7/1.2京都大作戦（太陽が丘） 8/19サンガホームタウンデー（サンガスタジアム） 8/25全品産地賞受賞報告会（市役所1階ロビー） 9/8文化庁移転記念イベント（萬福寺） 11/12ごちそうフェスタ 12/2歴まちサミット 12/17うー茶フェスタ	・各イベントに出展することにより市内産宇治茶のPRができた。		・各イベントの出展については、出展先を検討し効果的な市外へのPRを考えていく。

③商店街の活性化支援

区分	事業内容	R4実績	R5見込	R4・5に実施した事業についての検証（成果）	R4・5に実施した事業についての検証（課題）	今後の方向性（担当課案）
継続	商店街等の消費拡大に向けた取組【再掲】					
	商店街等が実施するキャッシュレス化等に向けた取組への支援					【P.03（1）①に掲載】
継続	商店街等への補助【再掲】					
	商店街等が実施するイベントや商店街施設（防犯カメラ等）の設置、情報発信事業等、商店街の効果的な活性化につながる取り組みに対し補助金を交付					【P.03（1）①に掲載】

取組の方向性 新たな産業の創出

取組の柱 (6) 事業の担い手の確保

①起業支援

区分	事業内容	R4実績	R5見込	R4・5に実施した事業についての検証（成果）	R4・5に実施した事業についての検証（課題）	今後の方向性（担当課案）
拡充	起業ニーズの掘り起し	【P.11（4）①「異業種交流会の開催」に掲載】				
	市内における起業家の掘り起しを目的とした、起業を選択してもらったための創業塾の開催や、起業家に情報交換の場や、起業家同士の出会いの場を提供するための交流会を他の支援機関と連携しながら開催					
拡充	産業交流拠点「うじらぼ」を活用した交流機会の創出	【P.11（4）①「異業種交流会の開催」に掲載】				
	時代のニーズに合わせた起業家の輩出やオープンイノベーションを促進するため、産業会館1階に産業交流拠点「うじらぼ」を設置。宇治NEXT（市・商工会議所）が運営し、異業種交流会等、あらゆる層が交流できる機会を創出することにより、新しい価値を生み出し、事業者の成長支援を実施					
拡充	こども未来キャンパスの実施	<p>○小・中学生向け（保護者観覧可） 体験会・説明会（全3日、92名参加(申込者204名)） 本スクール全22回(6/11開講、34名参加) オンラインスクール(6～8月)6回(282名参加) (1～3月)6回(200名参加)</p> <p>○高校・大学生向け 体験会・説明会（全3回、オンライン、当日参加10名・アーカイブ視聴4名） 本スクール全9回(9/17開講、15名参加)</p>	<p>○小・中学生向け（保護者観覧可）【資料24・25】 体験会・説明会（全3日、87名参加(申込者212名)） 本スクール全22回(6/17開講、32名参加) オンラインスクール(6～8月)6回(283名参加) (1～3月)6回</p> <p>○高校・大学生向け【資料26】 体験会・説明会（全3回、オンライン、当日参加33名・アーカイブ視聴2名） 本スクール全9回(6/10開講、23名参加)</p>	<p>小・中学生向けは、例年同様に、体験会・本スクールともに定員を大幅に超える申込みとなっており、需要の高さが伺える。事後アンケートでは高い満足度を得ることができた。</p> <p>高校・大学生向けは、R4年度は個人単位、R5年度はグループでプロトタイプ検証まで行い、発表会において審査員から高い評価を得ることができた。</p>	<p>参加人数や回数を増やしたが依然として申込数に対して参加出来る人数が少ない。</p> <p>参加者のモチベーションの維持が課題。卒業生、運営側の持続的な関わりが必要。</p>	<p>小・中学生向け及び高校・大学生向け双方とも内容をより充実させ、引き続き実施する。</p>
	産業交流拠点「うじらぼ」にて、未来の人材育成やふるさとへの愛着の醸成に向けた子ども向けの起業スクールや体験スクールを実施。参加者の声を踏まえながら事業内容の充実を図る					

区分	事業内容	R4実績	R5見込	R4・5に実施した事業についての検証（成果）	R4・5に実施した事業についての検証（課題）	今後の方向性（担当課案）
継続	新規起業家への開業資金の補助	○創業支援補助金の申請を募集（6/24～10/31） （申請件数15件、採択件数12件） ※創業相談45件	○創業支援補助金の申請を募集（6/23～10/31） （申請件数16件） ※創業相談38件	「宇治市産業戦略」の中で目標としている補助金を活用した創業を6件以上支援することができた。また、空き家を活用した創業も増えており、地域課題の解決にも貢献している。	予算を上回る申請が続いており、不採択者の数も増加傾向。不採択者との関係継続が課題。採択者の平均年齢は30代半ば以降であり、若者の開業率が低い。金融機関等との連携もより必要となってくる。	補助金は継続実施。起業しやすいまちであることをよりPRしていく。
	起業初期の経営安定化を目的に、新たに起業する人や第二創業を行う人に対して、その経費の一部を補助					
継続	専門機関による市内事業者の相談支援の実施	○ベンチャー育成工場の入居者に伴走支援を実施（支援内容の例：人材確保、資金調達、企業間マッチング、販路開拓等） ○入居企業数 7社	○ベンチャー育成工場の入居者に伴走支援を実施（支援内容の例：人材確保、資金調達、企業間マッチング、販路開拓等） ○入居企業数 8社（1/11時点）	ベンチャー育成工場の入居者に伴走支援を実施（支援内容の例：人材確保、資金調達、企業間マッチング、販路開拓等）。 工場が併設されているインキュベーション施設はめずらしく、また賃料が安価であることから入居希望される問い合わせは多い。	入居期間終了後の市内定着が課題。市内において新規立地先が少ないこと、賃貸においては市内物件の賃料が高いことが市外流出の原因となっている。	入居期間終了後、市内物件を紹介できるよう情報収集に努める。
	インキュベーションマネージャーを配置し、宇治ベンチャー企業育成工場の入居企業等の経営支援を実施					
継続	ベンチャー企業育成工場の運営					
	市内におけるベンチャー企業育成を目的とした、宇治ベンチャー企業育成工場を運営					
継続	京都府融資制度を活用した起業への支援	○保証料補給（一部）を実施	○保証料補給（一部）を実施	市内事業者に対し、保証料補給を行うことにより、中小企業経営の安定化に努めることができた。	市の財政負担の在り方として今後どうしていくのかを随時検討が必要	今後も健全な事業資金供給を行うため、効果的な補給などの支援に努める。
	創業支援の一環として、京都府制度である「開業・経営承継支援資金」への保証料補給（一部）を実施					

②新たな担い手の確保

区分	事業内容	R4実績	R5見込	R4・5に実施した事業についての検証（成果）	R4・5に実施した事業についての検証（課題）	今後の方向性（担当課案）
拡充	新規就農者への支援 経営が不安定な就農直後の所得確保や、農業者からの指導による技術向上等により、新規就農者の定着を支援	新規就農者3人に対し、農業次世代人材投資資金（経営開始型）を、新規就農者1人に対し、経営開始資金を交付。	新規就農者3人に対し、農業次世代人材投資資金（経営開始型）を、新規就農者1人に対し、経営開始資金を交付。 新規就農者1人に対し、経営発展支援事業補助金を交付予定。	新規就農者に対し資金を交付することにより、農業の持続と振興を図ることが出来た。	農業者の高齢化に対応する取組が必要であるため、今後も国・府の動向を注視し、引き続き就農意欲の喚起と就農後の定着を図る。	農業を持続させるため、新規就農者を確保する必要があるため、経営確立に資する資金の交付等を引き続き行う。
継続	企業誘致の検討及び誘致活動 宇治市の特徴や経済構造の変化、企業側のニーズ等を踏まえた上で、研究開発型の企業や大学発のベンチャー企業等、誘致対象を検討するとともに、市外からの誘致に向けた情報発信や企業訪問を実施	○フードファクトリー2022出展 （京都市市町村企業誘致推進連絡会議事業） 9/28～9/30 全体来場者数 14,216人（延べ37,896人） 連絡先交換企業数 約90社 ○大阪市内で開催された京都府企業誘致説明会への参加 1/27開催	○第26回 関西ものづくりワールド 2023出展 （京都市市町村企業誘致推進連絡会議事業） 10/4～10/6 全体来場者数 31,627人 連絡先交換企業数 約175社	市外からの誘致に向けて、情報発信を行うことが出来た。	市内において新規立地先が少ない。	市外からの誘致に向け、情報発信等を引き続き行う。